日本赤十字社 ゆかりの地

ご案内MAP

田原坂公園

日赤発祥のきっかけとなった西南戦争跡地。歴史を今に伝える資料館があります。

日赤記念館（ジェーンズ邸）

1877年5月3日、博愛社設立許可の舞台となった歴史的建造物。

正念寺

田原坂の戦いで救護所となった寺。ここでの活動が「博愛社」の誕生に繋がります。

熊本城

1607年、加藤清正が築城。400年の歴史を誇る日本三大名城の一つです。

病院からのAccess

福岡まで ▷約1時間

熊本空港まで ▷約30分
熊本ICまで ▷約15分
JR熊本駅まで ▷約25分

日本赤十字社発祥の足跡を巡り、その歴史に想いを馳せてみて

襟元に赤十字と桐花章を付けた濃紺ワンピースと制帽は「日本赤十字社救護員制服」です。
昭和43年に看護師制服として定められ、
現在は、ナイチンゲール記章授与式など特別な式典で着用されています。

熊本赤十字病院

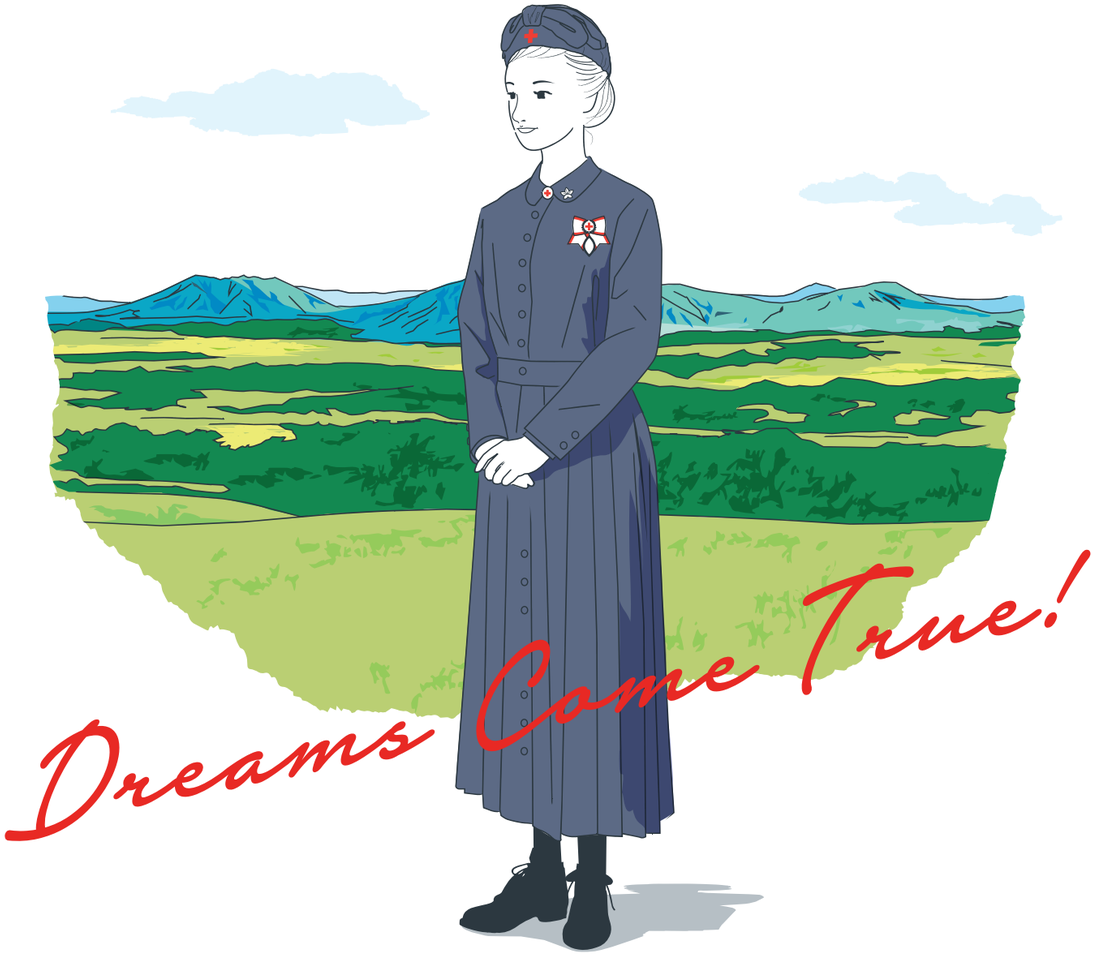
〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号　TEL.096-384-2111(代) FAX.096-384-3939

https://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/

熊本赤十字病院　検索

Nurse Guide

日赤発祥の地 くまもと



熊本赤十字病院
JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

日赤発祥の地くまもとで
一緒に輝きませんか

長きにわたってその歴史を育んできたこの地で
あなたの歴史を刻みませんか？
わたしたちと一緒にあなたの素敵な夢を叶えましょう。

P 07

救急医療

救急医療は医療の原点

24時間365日、すべての患者さんを受け入れ、その生命と尊厳を守る最善の医療の提供に努めています。

P 08

小児医療

こどもたちを守りたい

小児救命救急センターに指定されている当院は、小児の救急と集中治療に力を注いでいます。

P 08

がん診療

診断・治療・ケア

多職種のスタッフたちが連携し、心の通いあう高度ながん診療に取り組んでいます。

P 09

医療救援

熊本から世界へ

私たちは地球的視野で国内外の災禍を見つめ、積極的な医療救援活動を実践しています。

日本赤十字社は1877年、西南戦争で傷ついた兵士を
敵味方の区別なく救護したことをきっかけに、
熊本で生まれました。
＂目の前で苦しんでいる人を救いたい＂
140年以上の時を経た今も、先人の想いは変わらず
私たち赤十字看護師の中に生き続けています。

看護部長あいさつ

GREETING

「看護が好き」「赤十字が好き」の思いを育て、行動できる人をつくる

私たちは、日赤発祥の地である誇りを持ち「人と社会のまさかの時にお役に立つ」を合い言葉に地域の皆さんから安心し信頼していただける病院でありたいと思っています。一人一人を大切に思う「人間に対する尊厳と愛」を持ちながら、高度急性期の病院として専門性の高い確かな看護を提供できるよう日々、研鑽を行っています。「看護」「赤十字」が大好きという思いを行動に移せる人づくり、人財育成を私たち看護管理者も全力で行うことをお約束します。

日赤発祥の地である熊本で、「未来のあなた」を見いだし、一緒にキャリアを磨いていきませんか。

看護部長　村田 美和

Education

育み・育まれる「共育」

熊本赤十字病院では新人看護婦さんが安心して働けるよう、「チューター制」をとっています。各新人に相談相手となる先輩看護師（チューター）が付き、仕事の仕方や学習方法、悩み事など、心理面・生活面を含めて広範囲にわたったサポートを行います。

今回はチューター制でペアだった2人と教育担当者が座談会で語ります！

いつも支えてくれたチューター、
サポートしてくれた病棟の仲間がいて、
看護師としての一歩が踏み出せた。

現場で学ぶ大切さ

上村幸子さん（以降、U）：男女ペアって珍しいけれど、入職当時はどうでした？

山上大樹さん（以降、Y）：最初は正直、戸惑いました…（笑）でも一緒に業務をしていく中で成長が垣間見られて。成長していく姿を嬉しく思っていました！

岩本実華さん（以降、I）：困っていることもすぐに相談できるし、本当に心強かったです。やはり1年目は沢山の事に向き合っていかないといけないので。

U：何か心に残っている出来事はありますか？

I：入職したての頃、担当した患者さんで次第にせん妄症状が現れる方がいらっしゃいました。当初は穏やかな方だったんですが、徐々に医療行為への抵抗も見られて。「私はこの患者さんにとって悪いことをしているのでは」と悩みました。そこで病棟カンファレンスで相談したり、山上さんからアドバイスをもらったりしました。そのおかげで「ありがとうを言われるだけが看護ではない。専門職として責任を果たそう」と強く思えました。

Y：その変化は僕にも伝わりました。看護師として本当の意味で「第一歩」を踏み出した瞬間が見られたなと。

U：「看護学生」から「看護師」になったんだね。

チューター
山上大樹

教育担当
上村幸子

新人看護師
岩本実華

新人看護師教育プログラム

新人看護師には年間を通して
教育研修プログラムが組まれています。
充実した研修内容で不安を取り除き、
安心して患者さんに向き合えるようになると
同時に、同期との絆も深まります。

Ⅰ期（4月）

日常生活援助技術
基礎看護技術
●経管栄養
●吸引
急変時の看護
感染防止
医療安全

Ⅱ期（5月）

基礎看護技術
●採血
●皮下注射
●点滴静脈内注射
ME機器操作
輸血

Schedule

一日のスケジュール

外科病棟（日勤）の例／8:15〜17:30の場合

8:15	勤務開始、情報収集	その日に担当する患者さんのカルテを確認
8:25	朝礼	日勤者の健康状態をチェックし、夜勤からの伝達事項を確認
8:30		
8:40	カンファレンス	チームごとに患者さんの情報を共有
8:50		
8:50	手術室入室の準備	9時入室の患者さんの準備を行い、手術室へ移動 手術室担当看護師へ申し送り
9:00		
9:00	回診	術後の患者さんのガーゼ交換等、医師の診療や処置の介助
9:30		
9:30	患者ケア・検温	検温、バイタルサインチェック、処置、点滴実施など、パートナーと一緒に患者さんのもとを巡回
11:30		
11:30	休憩	11時半〜、12時半〜と、1時間ずつ交替で休憩
12:30		
12:30	術後患者のケア	手術から患者さんが帰室 バイタルサインチェック、点滴など術後の観察
13:00		
13:00	看護記録	電子カルテに患者さんのデータを記録
13:30		
13:30	患者ケア・検温	午後の検温、処置のため巡回
14:30		
14:30	入院患者の受け入れ	その日に入院してくる患者さんの情報を電子カルテに入力 点滴や検査の準備
16:00		
16:00	記録の整理	入院患者さんや担当患者さんの記録
17:20		
17:20	終礼	連絡事項の確認
17:30		
17:30	勤務終了	お疲れ様でした♪

キャリアアップへの道

U：岩本さんは国際医療救援活動に関心があるんですよね？

I：はい！入職前から実際に派遣された方のお話を聞いて興味がありました。入職後もこんな先輩になりたい！とモデルになるような先輩が沢山いらっしゃるのでとても刺激になっています。

U：この前も勉強会に参加してたね！山上さんはどう？

Y：僕は専門分野を極めていきたいと考えています。院内にも専門看護師や認定看護師が多くいるので、多方面に活躍の場があるなと感じていて。日赤の魅力でもありますね。

U：二人とも目標が明確で素敵ね。私もできる限りサポートしていくので、今しかできない事は必ずあるから、多方面から情報を収集して、視野を広げて、どんどん活躍していってください！

Ⅲ期（6月）

看護倫理
メンタルヘルス
中央滅菌室研修

Ⅳ期（7〜9月）

シナリオシミュレーション①
多重課題シミュレーション
画像センター研修
セルフエスティーム

Ⅴ期（10〜3月）

シナリオシミュレーション②
手術センター研修
外来研修
ラダー申請

Career Development

キャリアアップ支援

看護実践者ラダー

日本赤十字社の「キャリア開発ラダー」に基づきラダー制を導入。
教育背景やライフスタイルの異なる個々の看護師の教育ニーズにあわせ
継続教育を行い一人ひとりが目指す将来像をバックアップしています。

看護部のサポートと
先輩の支えで安心して学べる！

自分のペースで
じっくり学べるよ！

必要な研修を修了し、各レベルを取得した看護師には
院長から認定証と認定バッジが授与されます。

レベルⅤ
- 看護専門職として地域の保健医療に参画する

レベルⅣ
- チーム医療の中で看護の専門性を発揮する

レベルⅢ
- 病棟でリーダーの役割を担う
- 救護班の一員として救護活動に参加する

レベルⅡ
- 自立して看護を実践し、新人や学生の指導を行う

レベルⅠ
- 助言を受けながら看護を実践する

経験を積み重ねる事で
自分に合った
環境が見えてくるよ。

看護実践者ラダーのほか、看護管理者、看護教員、国際活動要員、助産実践ラダーがあります。認定バッジは職員がデザインしたオリジナルです！

院内認定看護師制度

キャリア開発ラダーによる継続的な教育支援に加え、さらに看護水準を上げるため2017年から「院内認定看護師制度」を導入しています。日本看護協会認定の認定看護師たちがキャリアアップを目指す看護師に対してそれぞれの専門領域に関する院内研修を開催。特定の分野において知識と看護技術を身につけ、実際の臨床現場で活躍する看護師たちの実践モデルとして活動する看護師を育成します。現在はせん妄ケア、リンパ浮腫ケア、がん性疼痛ケアがあり、今後さらに多くの分野において専門コースを開設予定です。

Specialist

活躍する専門・認定看護師

看護のスペシャリストが多く在籍。各専門分野での看護の質を高めます。

急性・重症患者看護専門看護師
救急領域特定行為看護師
井野 朋美

スタッフ間のコミュニケーションは本当に大切

ICUで緊急かつ重症な状態にある患者さんのケアを行う他、専門看護師として医師と協働して治療計画を立てたり、スタッフに治療方針の提案を行ったりしています。患者さんの回復のためチーム一丸で取り組んでいます。

皮膚・排泄ケア認定看護師
創傷管理特定行為看護師

救急看護認定看護師
救急領域特定行為看護師

手術看護認定看護師　鳥飼 拓哉

その人らしく手術を受けてほしい

手術室看護師として、患者さんの不安を軽減できるよう、専門的な技術を習得したいと認定看護師になりました。今後は周術期看護の向上とチーム力の強化を目指しスタッフと切磋琢磨していきたいです。

認知症看護認定看護師

小児救急看護認定看護師

〈専門・認定看護師在籍数〉

専門看護師	急性・重症患者看護	1名	小児看護	1名
認定看護師	感染管理	1名	緩和ケア	3名
	皮膚・排泄ケア	3名	透析看護	2名
	認知症看護	2名	手術看護	2名
	摂食・嚥下障害看護	1名	—	
特定行為看護師	創傷管理	1名	救急領域	4名
	術中麻酔管理領域	1名	—	

2023.4現在

Feature

「断らない救急」の実践

「救急医療」は待ったなし。時間や場所を選びません。

救命救急センターでは24時間、365日、小児から成人まで年間約6万5千人の救急患者さんを受け入れています。看護師は医師と共に、救急搬送されてきた重症患者さんの処置や看護を行い、付き添いのご家族のケアも行います。またご自身で来院された患者さんには、まず始めにトリアージナースが対応し、多くの患者さんの中から生命にかかわる状態の方をいち早く見つけます。大切ないのちを救うため、病院全体で協力し「まさかの時」に備えています。

救急外来を訪れた患者さんに最初に接するトリアージナース。問診を行い、患者さんの症状をみて治療や診察の優先順位を決めます。

こどもからお年寄りまで。
軽症者から重症者まで。

Anyone

Anything Concept

Anytime

診療科を問わず
どんな疾患も。

24時間365日。
平時から災害時まで。

01

命のきずなを空でつなぐフライトナース

ドクターヘリの出動要請があると、5分以内にフライトドクターと共にヘリに乗り込み、救急現場へ。ドクターヘリの大きな役割は「救命医療のスペシャリストをいち早く現場に送り届け現場で処置を行う」ことです。現場へ向かう機内では、無線で伝えられる情報から患者さんの容態を想像し、必要な準備を行います。現場では医療行為のほかに、患者さんやご家族のサポート、搬送病院の選定や搬送病院スタッフへの状況説明などを行っています。フライトナースになるためには、「看護師経験5年以上」「救急看護師経験3年以上」また「PALS（小児二次救命処置法）・ACLS（二次心肺蘇生法）研修修了」などのさまざまな条件があります。それらをクリアした看護師が「フライトナース」として一分一秒を争う最前線で活動しています。

かけがえのない生命を救いたい

ドクターヘリに乗り込むと一瞬の油断も出来ません。現場での患者さんの容態も毎回異なり、常に細心の注意を払う必要があります。患者さんの大切な「いのち」を救うため、私たちフライトスタッフはできるかぎりの力を尽くします。

02

西日本初の小児救命救急センター

平成24年に県内初となる小児集中治療室（PICU）を備えたこども医療センターを整備し、西日本で初めて小児救命救急センターの指定を受けるとともに、県内唯一の小児救急医療拠点病院に指定されています。「未来を担うこどもたちを守りたい」と、すべての重篤な小児救急患者を受入れ、医師、看護師、薬剤師、病棟保育士など、多職種が協力しあって質の高い医療の提供に努めています。

子どもと家族が安心して過ごせる環境づくり

子どもたちがより良い環境で療養できるよう、看護師たちは笑顔を絶やさず、子どもたち、そして付き添いのご家族とのコミュニケーションを欠かしません。こころのケアが必要な子どもたちには、病棟保育士や臨床心理士がサポートを行います。

一日も早い回復と子どもの元気な笑顔のために

子どもたちのストレスを軽減し、医療に対する恐怖を少しでも取り除くため、毎月、夏祭りやクリスマス会などスタッフが企画して季節のイベントを開催しています。こども医療センター内には、子どもたちのこころの癒しとなるよう、センターオリジナルキャラクター「ひばひこファミリー」のイラストをあしらっています。つらい治療を頑張っている子どもたちを看護師たちスタッフと共にひばひこファミリーが温かく見守っています。

03

地域がん診療連携拠点病院として

当院は、質の高いがん診療を行う拠点病院として地域がん診療連携拠点病院に指定されています。医師や看護師、メディカルスタッフなど様々な職種が連携したチーム医療で先進的で高度ながん診療に取り組んでいます。

自分らしい生活を送っていただくために

がん患者さんの不安を少しでも和らげ、できるだけ自分らしい生活を送っていただけるよう、専門の看護師が治療や今後の生活に関する相談、カウンセリングなどを行っています。相談、カウンセリングなどを行っています。また、がんと診断されたときから生じる体の症状や気持ちのつらさ、不眠などの精神的な症状を持つ患者さんやそのご家族には、緩和ケア認定看護師を含む緩和ケアチームが適切な治療法の選択や生活の質向上のためのサポートを行います。

がんに関する啓発活動

がん専門の看護師たちが企画し、定期的に乳がん予防や緩和ケア推進イベントなど、一般の方々を対象にしたがんに関する啓発活動を行っています。

Relief

国内救護

どんな状況でも一人ひとりに寄り添い、災害弱者の声を聴く。

熊本県唯一の「基幹災害拠点病院」に指定されている当院では、災害時においても切れ目のない医療を提供できるよう、平時から医療設備の備えやライフラインの確保、多数傷病者の受入れ訓練などを行っています。

熊本地震で感じた使命

災害時には子どもや妊婦、高齢者、そして病気を抱える患者さんが多くの被災者の中に埋もれてしまいがちになります。私たち赤十字救護要員は、どんな状況でも被災者一人ひとりに寄り添い、その声に耳を傾け、災害時こそ、災害弱者と呼ばれる人々に真っ先に手を差し伸べなければいけません。2016年の熊本地震、私たちはそのことを改めて学びました。

常備救護班

日赤熊本として、医師、看護師、メディカルスタッフ、主事からなる常備救護班を9個班編成し、救護資機材や医薬品の取扱い、こころのケアなど各種訓練を行い、いつでも出動できるよう備えています。その他に、熊本赤十字病院DMATを設置し、26名（医師9名、看護師10名、調整員7名2018.4現在）が登録されています。

東日本大震災 雪の中で活動

国際救援

From KUMAMOTO To the WORLD

「つくる・そだてる・やくだてる」を合言葉に1980年以来延べ280人以上の職員を世界各国へ派遣、世界の災害や紛争に対し、人道活動を展開しています。

ネパール大地震被災者救援事業

7,600人を超える死者を出した大地震。日赤が展開した診療所には負傷した患者らが一日200人以上押し寄せた。少しでも不安を取り除くため、派遣職員らは被災者に寄り添い精一杯の笑顔で対応した。

シエラレオネ小児看護技術強化事業

世界で一番寿命が短い国と言われるシエラレオネ共和国。現地での教育指導のほか、現地の看護師らを招き、日本の小児救急医療を体験してもらうなど継続した小児医療の改善に取り組んでいる。

フィリピン南部台風災害救援事業

総被災者が600万人を超えた台風被害で、被災住民に基礎保健サービスを提供したほか、巡回診療や母子保健のチェックやこころのケア、予防接種などを実施した。

スイッチON!の会

国際医療救援経験のある看護師が主体となり、海外派遣で必要なこと、困ったことなど実際の体験を伝える「スイッチON!の会」を毎月開催しています。看護師以外の職員の体験談も聞くことができ、国際活動に必要なコミュニケーション能力や事業の企画・管理・調整能力などを磨いています。世界で困っている人を助けたい。誰かの役に立ちたい。そう思っているあなたの参加をお待ちしています！

熊本赤十字病院の豊富な福利厚生をご紹介！

Off

笑顔で働けるワケがある！

職員宿舎

*Comfortable

仕事場にとっても近く間取りも広くて快適！

職員食堂

*Reasonable!

定食は毎日変わります!!朝・昼・夜3食食べても950円

院内保育所

*Reliable system

病児・病後児保育室もあってとっても安心！

職員用トレーニングルーム

*Training

景色を眺めながら運動できます!気持ちいい汗で気分も爽快!

リラクゼーションルーム

*Relaxation

仕事で疲れた心と体をやさしく癒してくれます。

*Festival

火の国まつりおてもやん総踊りもみんなで参加。祭りをおおいに盛り上げます!!

サークル活動

*Circle activity

職種を越えた強い絆

*Memories

大事な仲間との思い出づくり!誕生夕食会、ボウリング大会、職員文化祭などイベントもいっぱい!